

令和元年度第4回野洲市社会教育委員会議（概要報告）

会議日時	令和2年3月25日（水曜日） 午後1時30分～午後3時30分
会議場所	人権センター 交流研修室
出席者	社会教育委員：高木委員長、水島副委員長、北脇委員、今井委員、駒井委員、 政本委員、森井委員 事務局：西村教育長、杉本教育部長、川端教育部次長、渡邊学校教育課長（学校教育担当次長）、進藤文化財保護課長（文化財担当次長）、田中生涯学習スポーツ課長、宇都宮図書館長、角歴史民俗博物館副館長、山本人権施策推進課長、水野スポーツ施設管理室長、小山文化ホール館長、井狩こども課長、中川生涯学習スポーツ課長補佐、広沢生涯学習スポーツ課主査
傍聴人	なし

●議事

（1）野洲市生涯学習振興計画第2期について

分野別行動目標 令和元年度の実績・評価、課題・検討について  
令和2年度の主な取組について

○事務局より説明

分野毎に、令和元年度の実績・評価、課題・検討と令和2年度の主な取組について説明した。

◎主な発言（◇委員、◆事務局）

◇各種教室で、キャンセル待ちの出る教室はあるか。また、キャパシティを増やすなどできないか。

◆健康体操やヨガスクールなどが人気、何十人も待っているわけではなく、空けば都度入ってもらう。今後は運営方法も考える。

◇教室が10回ほどで終わると、自主運営化している。そこで継続することも大切である。

◇報告いただいた資料の書き方のトーンが統一されていない。実績報告の部分は具体的に書くなどして、全体的に分かり易くしていただきたい。また、コミセンでの聞き取り結果と人権推進員や生涯学習推進員を自治会から推薦しているがどのような活動をしているのか。生涯学習振興に推進員の活用するためにも。

◆コミセンでの聞き取りでは、生涯学習推進員が自治会での行事などの活動は有っても、地域の活動としてのつながりがないということが見えてきた。また、生涯学習推進員の役割として、例えば生涯学習セミナーでの学びを自治会や地域に持ち帰り発信したり、学びを活かして活動いただきたいがそうになっていない。そこで、次年度から生涯学習セミナーを生生涯学習カレッジとして、充実させて地域の生涯学習の担い手づくりにつなげたいと考えている。

◇コミセンと推進員の関りが無い。コミセンを利用してもらい人との出会いの場となり、そこで夢を持っている人を紹介いただきその人を活かすことが社会教育委員の役割としての人をつなぐことでもある。

- ◆人権推進員は、地区別懇談会の企画や自ら人権意識を高めていただき行動していただきたい。
- ◇自らどう行動するかが見えてこない。同和問題以外の人権についても必要である。研修後に実行動に移る方はいるのか。
- ◆掘り起こしができていない。そこが必要と考える。
- ◇市の事業とコミセンの事業をコミセンとも踏み込んで一緒にやっていくことも必要である。
- ◇縦割りの課題であり、行政のみでは限界があるので住民サイドでのつながりが必要である。
- ◇地域の子どもが事業にどれくらい参加しているか。子どもたちにとって良いものであったとわかると良い。
- ◆フリースポーツには中学生が多く、練習の場になっている。カヌーやヨット教室は、小学生が対象の事業である。
- ◇親子でフリースポーツに行っている例がある。良い体験づくりになっている。発掘調査の体験などがあるとそこから広がりができる。
- ◇次代の担い手となる子ども達が企画する場となる事業はあるのか。
- ◆全国学力・学習状況調査で、野洲市の子どもは地域行事への参加が80%と高い。中学生は地域の運動会への協力がある。学校の長期休みに、コミセンが学習や遊びの場となっていけば良いが、そのようなサポートが行政課題である。
- ◇野洲市には活力ある人たちがたくさんいる。子ども達につないで次へとつないでいくこと。
- ◇芸術文化で学ぶ機会があって良い。将来的には市民が参加して作る市民ミュージカルや市民オペラなどの自ら参加して舞台を作り、そこに家族が見に来るそんなつながりがあると良い。
- ◆野洲町時代に有志の実行委員会を実施されたことがあるが、現状では難しい。ホールの事業は共催事業が殆どであり、提案に今どうかとは言えないが今後体力を整えていきたい。
- ◇行政のみでは困難であり、ボランティアやエネルギーのある人の活用も必要である。
- ◇野洲図書館は、学校目線でありがたい。また、妓王まちづくり協議会と学校との協力体制がある。学区行事に子どもたちは参加するが市の行事には参加しにくい。情報発信と市の行事には行くための手段が必要でもあることやスポ少の活動などで参加したくても参加しにくいなど調整が必要である。
- ◇子ども達に情報を出すために小学校区単位での情報整理をするとともに、情報ネットワークづくりが必要である。
- ◇次年度の生涯学習振興計画の分野別のまとめでは、人数のまとめのみでなくトーンを合わせてまとめてください。

## (2) 第3次野洲市子どもの読書活動推進計画について

### ○事務局より説明

- ・パブリックコメントを実施したところ、市民からの意見はなかった。
- ・教育委員会3月度定例会で議決を得た。

### ◎委員の主な発言

- ◇アクションプランがないと筋道が見えないので、策定し次回にプランを提示願いたい。

(3) 令和2年度野洲市社会教育関係団体補助金について

○事務局より説明

交付団体は今年度と同じで、交付額は、社会教育関係団体共同設置事務所の人件費単価上昇分の増額以外は同額であることを説明した。

◎委員の主な発言

◇交付目的に合った実績報告を求めるようにしていただきたい。また、生涯学習の振興に合致したものに考えていただきたい。

(4) 野洲市教育振興基本計画策定委員の推薦について

○正副委員長と事務局で協議して決めることとした。

●その他

○水島委員より地域福祉計画策定委員会の報告

市民の声を聞きたいとのことから、タウンミーティングをしていただけるかとのことであった。委員の皆さんそれぞれの母体で意見を聞くことも良いかと考えます。

◎委員の主な発言

◇地域福祉が根付いていないのに意見だけ聞いてもどうなのでしょう。

社会教育とは何なのでしょう。事業も大切ですがそれで終わりではなく、ここから種をまいて市民を育てるこのことも社会教育委員の役割として、次年度の取組で何か一つでもできればと考えます。

●その他

・教育委員会事務の移管について